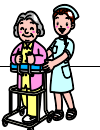
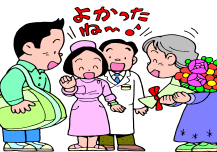


人工股関節置換術を受けられる患者さんへ

この予定表は一般的・標準的な経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により変わることがあります。

患者氏名		主治医		受け持ち看護師					
月	日	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目 月 日 ~退院まで	退院からの注意事項
達成目標	手術に向けて体と心の準備ができる。 手術後の状態について不明な点は医療者に質問し理解できる。 発熱がない。 手術に必要な物品の準備ができる。		手術に向けて体と心の準備ができる。 食べたり飲んだり出来ないことが守れる。		仰臥位での安静を守ることができる。 痛みや吐き気がある際は医療者に伝えることができる。 足関節の底背屈運動することで、足の血流を促し、肺塞栓を予防することができる。 腓骨神経(ひざ下の外側にある神経)の圧迫を予防し、その神経が麻痺しないようにする。 ヒップアップをすることで、床ずれができるのを予防できる。 股関節が脱臼しやすい足の位置を知り、気をつけることができる		ドレーンが抜けて車椅子に移乗できる。 転倒しないよう注意点を理解し実践できる。 痛みがある際は医療者に伝えることができる。 リハビリテーションに参加できる。 足関節の底背屈運動ができる。 創傷や胸部症状が出現した時医療者に伝えることができる。 脱臼予防を続けることができる。		退院後異常があるときは、早めに連絡し受診する事ができる。 
	持ってきた薬を看護師に渡してください。 薬は薬剤師に鑑定してもらいます。 夕食後に内服する薬は鑑定後に患者様にお返しします。 自分で薬を内服することが難しい方は看護師が配ります。		内服薬は看護師が預かります。術後しばらくは看護師が配薬します。 21時頃に下剤を飲みます。		手術日の朝の5時~6時に洗腸を行います。指示された薬のみ内服します。 手術は()番目です。 1番目の方は8時頃に手術室へ行きます。 2番目以降の方は、連絡が来たら手術室へ行きます。 2番目以降の方は()時頃に点滴をします。		傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。 また、リハビリテーション室でのリハビリも始まります。 リハビリテーション室は2階にあり、朝に時間は看護師が伝えます。		
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ							内服薬が再開になります。 自己管理が出来るまで看護師が配薬します。 抗生物質の点滴が朝と夕にあります。		＜退院後の生活について＞ (洋式トイレの使用) 和式トイレにはかぶせ式便座やポータブルトイレを使用します。 (入浴の際の注意点) 滑り止めや浴用椅子を使用しましょう。 (体重コントロールについて) 標準体重を目標としましょう。 (感染予防について) 手術した傷の異変や発熱が持続するなど、異常を感じた場合はすぐに医療機関を受診してください。 また、荷重の制限がある場合は、医師の指示を守り安全に移動しましょう。 (転倒予防について) 入院中に実践していた転倒予防行動を継続し、転倒に注意してください。 (脱臼予防について) 退院後も脱臼部位に気をつけて生活しましょう。 (外来受診とリハビリテーションについて) 定期的な外来受診や、リハビリテーションを継続します。 (内服について) 退院後も(続)内服薬がある場合は継続して内服します。 退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安な事がありましたら下記連絡先にお電話をください。 ◎平日 8時~16時(火・水・金) 整形外科外来 (0985)85-9885 ◎時間外、土、日、祝日 2階東病棟 (0985)85-1743
	お昼ごはんの前に採血があります。 心電図、肺機能、レントゲンは検査後に行われます。検査の呼び出しは連絡があるのでお待ちください。 尿検査がある方は原コップを渡します。 尿検査は15時までに提出します。		手術のための検査を行います。 		手術後に採血があります。		朝に採血をします。 		
活動・安静度	特に制限はありません。 転倒予防のため必ず靴を履きましょう。		特に制限はありません。		ドレーンが抜けるまでベッド上で安静に過ごします。 ナースコールを押して看護師を呼んでください。		ベッド上安静になります。 ベッドアップの制限はありません。 ドレーンの抜去防止のために看護師がベッドアップを行いますので、ナースコールを押してください。 1人で横向きはなれません。ナースコールを押して看護師を呼んでください。		車椅子に移乗します。初回の移乗は医師と一緒にを行います。 2回目以降も必ず看護師と一緒に移動します。 昇降や移動の際は看護師にお知らせください。 
	昼食よりお部屋の方に配膳します。 食事でアレルギーがある方はお知らせください。		()時から食べることができません。 ()時から飲むことができません。		食べたり飲んだりできます。		手術前と同様の食事が始まります。		
食事					食べることはできません。 腸の動きを看護師が確認して動いていれば水分を飲み始めます。		手術前と同様の食事が始まります。		
	1人でシャワー浴が行える方は予約をして入ってください。 シャワー浴の介助が必要な方は清潔アップの計画を立てます。 体に傷がある際はお知らせください。 テープで覆ったことがある際はお知らせください。		必要な部位の除毛を行います。 爪切りを行います。 化粧やマニキュア等はとってください。 シャワー浴ができます。		入浴や清拭はできません。		看護師が体を拭きます。 医師の許可が出るまでシャワー浴はできません。 髪や足を洗うことも患者さんと話し合いながら計画を立てていきます。 		
清潔					入浴や清拭はできません。		看護師が体を拭きます。 医師の許可が出るまでシャワー浴はできません。 髪や足を洗うことも患者さんと話し合いながら計画を立てていきます。 		傷の拭き取り、医師が確認した上で、シャワー浴の許可が出ます。 許可が出たら、シャワー浴のお手伝いをします。
	制限はありません。		特に制限はありません。		尿の管は入れたままです。 便意がある時は看護師にお知らせください。歩行することができないので、ベッド上で排泄することになります。		尿の管を抜きます。 排尿と排便はトイレで行う事ができます。		
排泄					尿の管は入れたままです。 便意がある時は看護師にお知らせください。歩行することができないので、ベッド上で排泄することになります。		尿の管を抜きます。 排尿と排便はトイレで行う事ができます。		
	病棟の案内を行います。 クリニックバスに沿って術前オリエンテーションを実施します。 主治医と麻酔科の医師より説明があります。手術に必要な以下の同意書を記入し、看護師に提出してください。 手術説明同意書 輸血同意書 特定製剤由来同意書 リハビリ同意書 麻酔同意書 保険の診断書がありましたら、早めに1階総合案内専用窓口に出して下さい。		術前オリエンテーションを行います。 深呼吸の訓練をしましょう。 かかとを吸ってはいけません。 車椅子に乗る練習をします。 術後は、病室が変わりますので部屋移動について説明します。		手術着に着替えて弾性ストッキングを着用して手術室にストレッチャーで行きます。 手術室は3階です。 指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類をはずしてください。 マニキュアや化粧は落としてください。 ご家族は、手術開始の30分前には直接病棟へお越しください。 手術中ご家族は2階のデイルームまたはお部屋でお待ちいただけます。		脱臼予防を意識して継続しましょう。 転倒予防に注意しましょう。 ・左右確認を行いゆっくり移動しましょう。 ・身の回りの整理整頓を行いましょう。 ・必ずストッパーの確認をしましょう。 ・履き慣れた靴を使用しましょう。 ・医師の許可があるまで、看護師と一緒に移動しましょう。		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導					入室の際は、部屋の前で手指消毒をお願いします。 病棟では、可能な限り足首の底背屈運動をしてください。 患者さんは、可能な限り足首の底背屈運動をしてください。 床ずれや合併症予防のために、ヒップアップに協力ください。 股関節が脱臼しないように、外股や内股にならないよう足の間に枕をはさみます。真っ直ぐな足の位置を意識するようにしましょう。 		脱臼予防を意識して継続しましょう。 転倒予防に注意しましょう。 ・左右確認を行いゆっくり移動しましょう。 ・身の回りの整理整頓を行いましょう。 ・必ずストッパーの確認をしましょう。 ・履き慣れた靴を使用しましょう。 ・医師の許可があるまで、看護師と一緒に移動しましょう。		主治医の指示のもと弾性ストッキングを脱くことができます。 病棟の事務職員(クレーン)が会計計算業務を病室までお持ちします。病室でお待ちください。尚、保険等の書類がありましたら、早めにクレーンへお渡しください。
	術前までに以下の必要物品を準備してください。 1手術着2枚 オムツ1~2枚 手術当日より、病衣借用が必要となります(1日80円)ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内受付に提出してください。使用しなくなった場合、使用中止の手続きが必要です。 手術後は肺塞栓予防の弾性ストッキングを着用します。看護師がサイズを測り準備します。リハビリテーションが開始しますので、履き慣れた靴や動きやすいようにスポンを準備します。								
手術の準備物品									

注:イラストはMPCのイラスト集より転載

宮崎大学医学部附属病院